

学校評価を児童の豊かな学びと育ちへ

令和 7 年 9 月 5 日
京都市立吉祥院小学校
校長 森 美知子

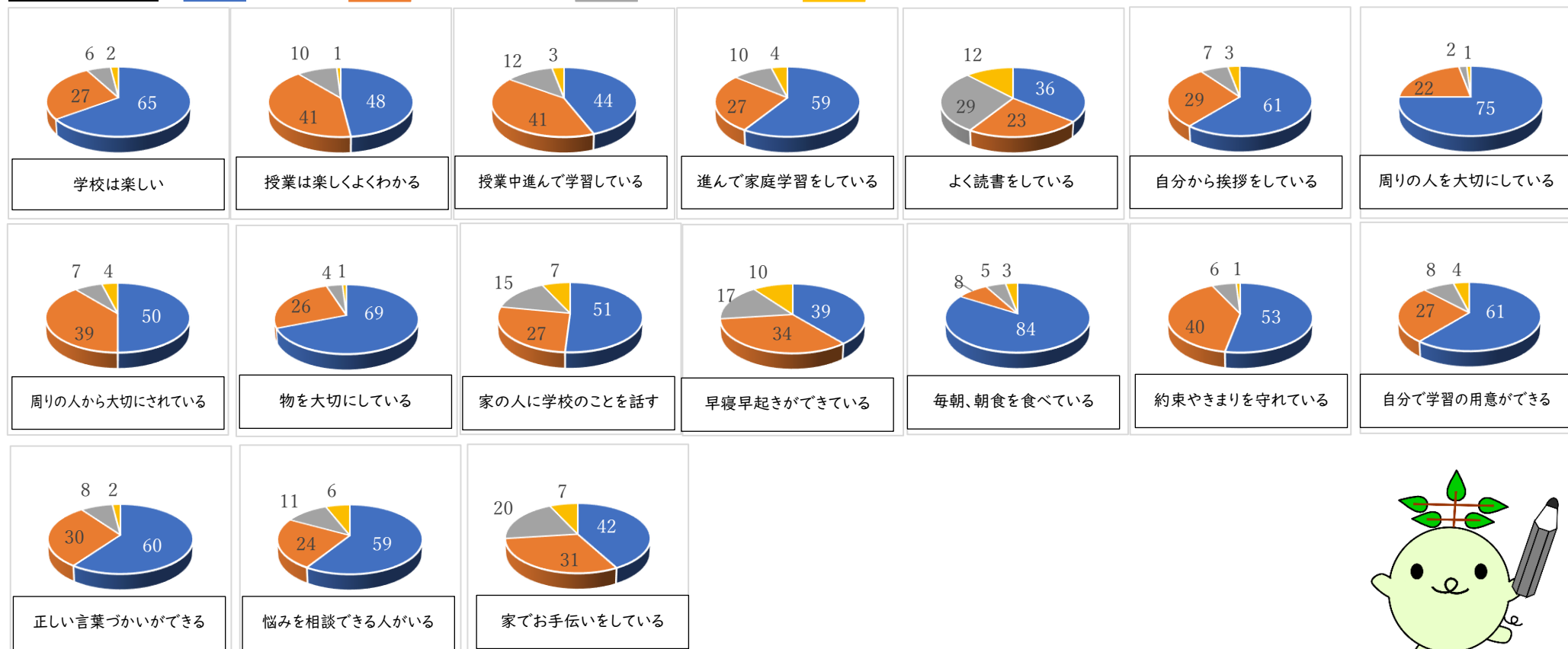


自ら学び、未来を創る子どもの育成 ～つけよう 伸ばそう にこにこ力～

平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただきありがとうございます。7月に実施しました、「学校評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。集計の結果をお知らせします。学校評価は、学校家庭が相互に高め合い、よりよい学校づくりを目的として行っています。吉祥院小学校では、学校教育目標の達成を目指し、「自ら行動する力」「他者と協働する力」「未来に向かう力」の3つを【にこにこ力】として位置づけ、その育成をめざして教育活動に取り組んでいます。児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。

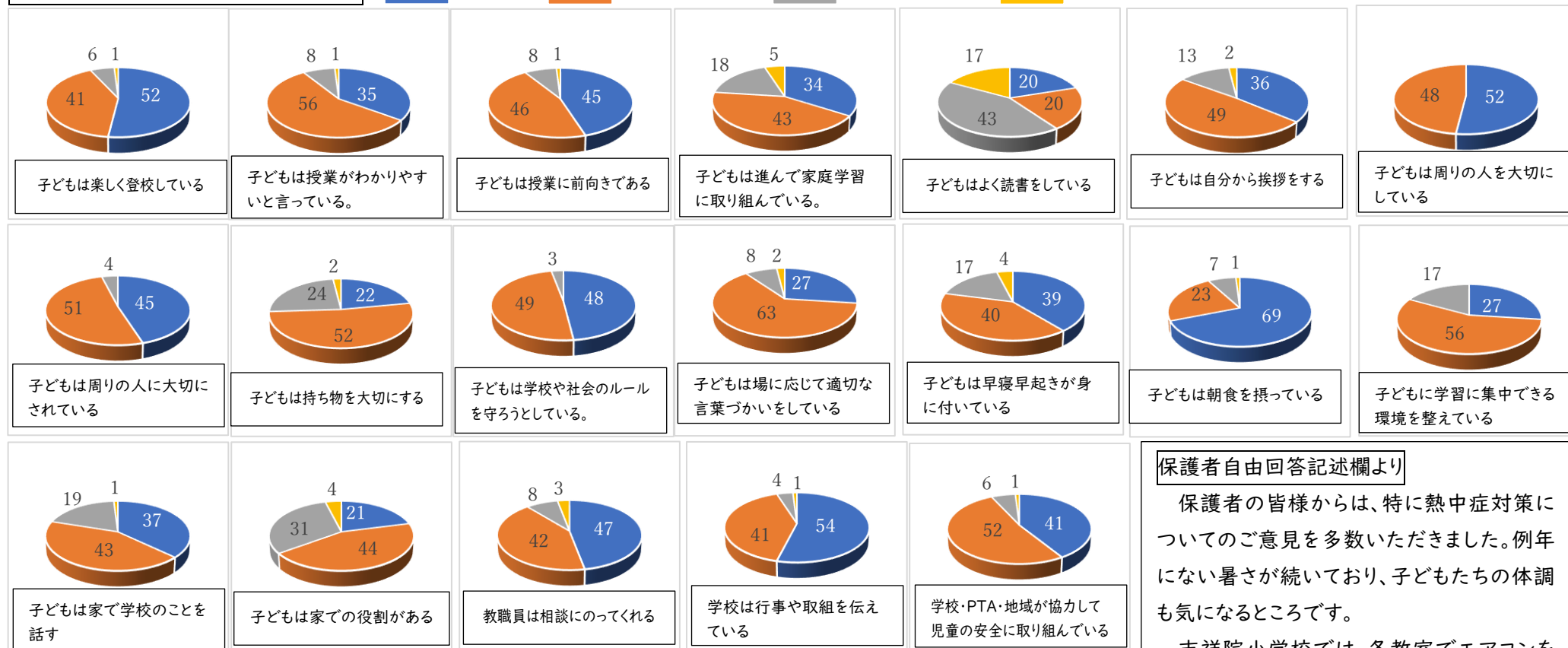
児童の回答結果

■ そう思う
 ■ だいたいそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない
 【百分率(%)で表示】



保護者の回答結果（回答率 44.4%）

■ そう思う
 ■ だいたいそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない
 【百分率（%）で表示】



- ・ 周りの人を大切に、また、大切にされていると感じている児童が9割を超えており、学校を居心地よく感じている児童が多いことがわかります。一方で、お互いのできていないところに目が向いてしまい、指摘しあう場面もクラスの中で見受けられます。吉祥院小学校では「にこにこ力」の一つとして「相手の良さを見つける」取り組みを進めています。互いの良いところを認めあい、励ましあい、伸ばしあうための取組を、11月の人権月間に合わせて重点的に進めていきます。
- ・ 8割以上のご家庭で、「子どもが学習に集中できる環境を整えている」と回答していただきました。また、9割の児童が「すすんで家庭学習をしている」と回答しています。一方、読書については課題が見られます。読書習慣を身につけることで、語彙力や読解力の向上が期待できます。また、本を使って調べたり、まとめたりすることで、情報活用能力の向上にもつながります。学校図書館や地域の図書館も積極的に活用しながら、学習を進めていくようにします。
- ・ 9割以上の児童が「毎日朝食を食べている」と回答していますので、朝食を食べる習慣は身につけていることがわかります。一方で、「早寝早起きができている」については、7割程度にとどまっており、「早寝・早起き」の習慣について課題が見られます。「早寝・早起き・朝ごはん」は、基本的な生活習慣の確立とともに、確かな学力の育成にとっても大切な習慣です。規則正しい生活を心がけられるよう、生活点検週間などを活用しながら児童への支援をしていきたいと思ひます。